

National Association of Institutions of Information Service for the Visually Handicapped

全視情協／ないーぶつうしん	2005/9/5
<b>NAIIV通信</b>	<b>No. 33</b>
<p style="text-align: center;">■ 発 行 ■</p> <p style="text-align: right;">発行責任者 岩井 和彦</p> <p>特定非営利活動法人 <b>全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)</b></p> <p>事務局 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2 日本ライトハウス盲人情報文化センター内 Tel.06-6441-5990 Fax.06-6441-0095 E-mail : naiiv@kurumi.sakura.ne.jp</p>	

## 主 な 内 容

平成17年度通常総会 開催 .....	2
総会決議 .....	4
平成17年度事業計画 .....	5
平成16年度事業報告(抄録) .....	7
第31回全国視覚障害者情報提供施設大会(京都大会) .....	10
「点訳問題集3」を発行しました .....	4
加盟施設の所在地が変わりました .....	9
視覚・聴覚に障害のある人たちのための放送バリアフリーシンポジウム開催	14
短 信 .....	13
プレクストーク(再生専用機)も日常生活用具に	
社会福祉法人愛光が創立50周年	
点字指導員講習会	
ないーぶネット研修会・目録研修会	
「音声版選挙公報製作・普及に関するプロジェクト」始動	

## 平成17年度通常総会 開催

去る6月20日(月)、ホテルグランヴィア広島において平成17年度通常総会を開催しました。今年度より春に通常総会を開催し、事業計画・予算等を審議します。

16年度は「次期ないーぶネット」構築と、福祉制度の変化の中での視覚障害者情報提供施設の将来のあり方検討に終始しました。今年は今後の展開を見据えた事業展開を図らなければなりません。

郵政民営化や指定管理者制度など安易な効率優先には警鐘を鳴らし、視覚障害者へのよりよいサービス提供を追求していきたいものです。

総会には83施設・団体が出席(委任状提出を含む)。岩井理事長あいさつの後、議長に秋武和俊(長崎県立点字図書館 館長)・岡本博美(山口県盲人福祉協会点字図書館 館長)の両氏を選出し、以下の事項について審議しました。

### 1 平成16年度事業報告・補正予算(案)・決算報告・監査報告

細川事務局長から、16年度事業についての報告、16年度補正予算(案)の説明、16年度決算報告がなされ、藤野監事から監査報告が行われた。  
質疑の後、拍手で承認された。

### 2 平成17年度事業計画(案)・予算(案)

配布資料に沿って、細川事務局長が説明。  
質疑の後、拍手で承認された。

### 3 新理事の承認について

石渡信孝氏(神奈川県ライトセンター所長)  
羽川英孝氏(秋田県点字図書館館長)(東北ブロック代表)  
の2名が承認された。期間は平成17年6月20日~19年3月31日。  
なお、石渡氏は常任理事に就任。

### 4 次期ないーぶネット

- (1) 近藤副理事長からこれまでの経過報告がなされた。  
昨年秋(16年10月)の全視情協福岡市大会後、「次期ないーぶネット検討委員会」を設置。点字図書館のあり方をも含めて、次期ないーぶネットについて検討し、17年3月末には委員会としての報告を理事会に提出した。17年4月、「次期ないーぶネット」システム図を持参して厚労省訪問。6月8日、見積書を持って厚労省再訪。
- (2) 結論として、国の予算はつかない。厚労省の意向は「内閣府や総務省の外郭団体への働きかけや民間企業へのお願い等については支援するが、一義的には自分たちで動いてほしい。いっしょには考えましょう」というもの。

(3) 今後は、現システムの延命をはかることとともに、次期システムについては、厚労省（社会参加推進室）だけでなく、総務省（放送通信機構等）へも要望し、また、厚労省を窓口、それ以外のルートについても探す必要がある。

以上を確認し、今秋の全視情協京都大会で総会を開き論議することとした。

## 5 総会決議（当日追加議案）

昨年の福岡市大会決議5項目に新たに「指定管理者制度」に関する決議を加えたものが提案された。

文言の一部修正を執行部に一任し、承認された。

（総会決議は4ページに記載のとおり。）

## 6 その他（報告事項）

### (1) 全視情協京都大会について

日程(案)を細川事務局長が説明。臨時総会を開催すること等をふまえて、後日あらためて、新日程を提示することとした。

なお、例年と異なり、宿泊については各自手配である。

この後、大会事務局である京都ライトハウスの加藤俊和所長より挨拶があった。

### (2) 理事会直属プロジェクトについて

以下の二つの「理事会直属プロジェクト」を設置する。

①「情報アクセシビリティ検討委員会」（日盲連の音声解説事業とタイアップ）

②「音声版選挙公報製作・普及に関するプロジェクト」（すでに日盲社協点字出版部会を中心に選挙公報点字版が発行されている。今後、音声版についても日本盲人福祉委員会事業に組み入れて進めていく。）

### (3) 「ないーぶネット負担金」について

平成18年度より「ないーぶネット負担金」は徴収しないこととする。

### (4) 「校正基準」について

既に各施設へ配布済み。活用していただきたい。

### (5) 定款・規定類の見直しについて

本会の活動をより効率的・合理的に行えるよう、定款や規定を見直していく。

## 総 会 決 議

- 一 次期「ないーぶネット」の構築と安定的運営のための支援を要望する。
- 一 「身体障害者更生援護施設の設備及び運営に関する基準」に、音訳指導員の配置と情報のIT化に対応するための職員の配置を明記するよう要望する。
- 一 指定管理者制度の実施にあたっては、視覚障害者へ十分な配慮をした情報サービスを条件に含めるとともに、各地域のサービスに格差が生じないようにすることを要望する。
- 一 郵便法に、点字郵便物及び盲人用録音郵便物の無料扱いを明文化するよう要望する。
- 一 盲人用録音データの公衆送信が点字データの扱いと同様になるよう、著作権法の改正を要望する。

以上、決議する。

平成17年6月20日

特定非営利活動法人  
全国視覚障害者情報提供施設協会

---

## 「点訳問題集3」を発行しました

長らくお待たせしておりました「点訳問題集3」が7月に新刊発行の運びとなりました。「点訳問題集1」「点訳問題集2」は、「点訳のてびき」を学ばれた方を対象に同書に準拠して編集されたものですが、「点訳問題集3」はさらにレベルアップを図っていただくための例文集です。なお、解答編としては「ないーぶネット」上の点字データを活用していただきますようお願いいたします（点字データ番号：N0310056）。

**墨字版「点訳問題集3」のご注文はこちらへ！**

株式会社 大活字

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビル6階

TEL 03-5282-4361

FAX 03-5282-4362

# 平成17年度 事業計画

## ● 17～18年度基本テーマ ●

「視覚障害者支援システムとしての次期ないーぶネットの構築と安定的運営体制の  
確立、録音資料のデジタル化にむけた環境整備」

### 1 主要目標

- (1) 視覚障害者情報提供施設の将来構想に基づく次期ないーぶネットの実現を、組織をあげて国へ働きかける。
- (2) 録音資料の公衆送信権等、著作権問題の解決をめざすとともに、質の高いデジタル資料製作の環境を整備することにより、平成18年度(2006年度)からの「録音資料の2重製作」の負担を解消する。
- (3) NPO法人に見合った組織形態と運営を進めることにより、視覚障害者の情報アクセシビリティ改善を求める幅広い活動を実現する。

### 2 年間行事予定

#### (1) 通常総会

日時：平成17年6月20日（月）

会場：ホテルグランヴィア広島

#### (2) 大会

「第31回全国視覚障害者情報提供施設大会」

期日：平成17年10月12日（水）～14日（金）

会場：ぱ・る・るプラザ京都

#### (3) 研修会

「ないーぶネット研修会」

期日：平成17年8月4日（木）～5日（金）

会場：文化服装学院（東京都新宿区）

#### (4) 協力事業（主催：日盲社協情報サービス部会）

##### ① 目録研修会

期日：平成17年8月4日（木）～6日（土）

会場：文化服装学院（東京都新宿区）

##### ② 点字指導員研修会（フォローアップ講習会）

期日：平成17年8月17日（水）～19日（金）

会場：メルパルク東京

##### ③ 第24回音訳指導技術講習会（指導員資格認定講習会）

期日：平成17年11月16日（水）～18日（金）

会場：玉水会館（大阪市）

## 委員会活動

### サービス委員会

1. 「ないーぶネット」研修会の運営
2. 目録入力に関する指導・サポート、目録研修会の運営
3. 「ないーぶネット」に関するサポート
4. 視覚障害者情報提供施設の実態調査
5. 「点字・録音雑誌一覧」の製作
6. 「点字図書館ハンドブック」の改訂に向けて
7. 著作権に関する取り組み
8. 音声パソコン・サポート

### 点訳委員会

1. 点字指導員研修会の運営
2. 「ないーぶネット」入会審査
3. 校正問題集の製作
4. 『初めての点訳第2版』補訂版発行に向けた取り組み

### 録音委員会

1. 第24回音訳指導技術講習会（第8回音訳指導員資格認定講習会）の実施
2. 音声デジタル化の推進
3. 『音訳マニュアル 音訳・調査編』の改訂

### 広報委員会

1. 全視情協、「ないーぶネット」の啓発用パンフレット作成
2. 全視情協ホームページについて検討

### 特別委員会

- ・「情報アクセシビリティ検討委員会」
- ・「音声版選挙公報製作・普及に関するプロジェクト」

## 役員（平成17～18年度）

理事長	岩井 和彦	日本ライトハウス盲人情報文化センター（館長）
副理事長	岩上 義則 近藤 豊彦	日本点字図書館（館長） 名古屋盲人情報文化センター（所長）
常任理事	後藤 健市 石原 直行 石渡 信孝	北海点字図書館（副館長） 石川県視覚障害者情報文化センター（所長） 神奈川県ライトセンター（所長）
理事	西田 洋一 岡本 博美 秋武 和俊 塩野 壮夫 前田 智子 羽川 英孝	熊本県点字図書館（館長） 山口県盲人福祉協会点字図書館（館長） 長崎県立点字図書館（館長） とちぎ視聴覚障害者情報センター（所長） 奈良県視覚障害者福祉センター（所長） 秋田県点字図書館（館長）
監事	前川 昭夫 藤野 克己	広島県立点字図書館（館長） 神奈川ワークショップ

# 平成16年度 事業報告（抄録）

## 1. 総会

(1) 通常総会 日時：平成16年10月13日（木）、14日（木）  
会場：西鉄グランドホテル

## (2) 臨時総会

第1回 日時：平成16年5月13日（木）  
会場：名古屋観光ホテル

第2回 日時：平成17年3月31日（木）（書面による）

## 2. 理事会

第1回 平成16年5月12日（水）～13日（木）（名古屋観光ホテル）

第2回 9月15日（水）（日本ライトハウス盲人情報文化センター）

第3回 10月12日（火）（西鉄グランドホテル）

第4回 平成17年3月1日（火）（日本ライトハウス盲人情報文化センター）

## 3. 大会

「第30回全国視覚障害者情報提供施設記念大会」

日 時：平成16年10月13日（水）～15日（金）

会 場：西鉄グランドホテル（福岡市）

## 4. 研修会・講習会等

### (1) ないーぶネット研修会

日 時：平成16年7月8日（木）～9日（金）

会 場：京都ライトハウス情報ステーション、弥生会館（京都市）

### (2) 目録研修会

日 時：平成16年8月6日（金）～8日（日）

会 場：大阪経済法科大学（大阪府八尾市）

### (3) 第20回点字指導員資格認定講習会

日 時：平成16年8月25日（水）～27日（金）

会 場：山西福祉記念会館（大阪市）

### (4) 音訳指導技術講習会（フォローアップ講習会）

日 時：平成16年11月16日（火）～18日（木）

会 場：東京グリーンホテル水道橋（東京都）

## 5. ないーぶネット

### (1) 「次期ないーぶネット」構築に向けて

- ・11月、「視覚障害者のための豊かな地域サービスをめざして－視覚障害者への情報提供施設のあり方」がまとまる。

- ・理事会直属の「次期ないーぶネット構想プロジェクト」の立ち上げ（11月～3月）
  - ・厚生労働省への要望のための新システム案作り
- (2) 協力金：ないーぶネット利用者の皆様から450万円余の浄財をいただいた。深く感謝申し上げます。
- (3) 6月、「ないーぶネット入会マニュアル」承認。11月21日付、完全実施。
- (4) 17年3月31日現在の会員数・目録数等は以下のとおり。

会員数	施設 177 個人 3,889
ログイン数	インターネット 施設 605,663 個人 507,454 テレフォニー 施設 1,351 個人 8,554
総目録数	ないーぶ 355,708 TRC 554,343 点字出版 6,407
完成目録件数	タイトル数 342,991(うち、点字データのあるもの 67,260) 冊巻数 1,590,204(うち、点字データのあるもの 289,212)

## 6. その他

- ・「ないーぶ通信第32号」（第30回全視情協大会（福岡市大会）特集号）の発行。
- ・新刊書籍として『点訳・音訳・サービスのための著作権マニュアル』を発行。
- ・文化庁へ著作権法改正に関する要望書提出（盲人用録音データの公衆送信について）
- ・17年3月末現在の会員数：92施設・団体

## 委員会活動報告

### サービス委員会

- 1 厚生労働省への予算要求のための「次期ないーぶネット」構想案資料作成
- 2 第30回全視情協記念大会での「全体会2」の企画運営
- 3 「ないーぶネット」研修会の開催
- 4 「目録研修会」開催
- 5 国会図書館通知書誌データの検証と、「ないーぶネット」「N-LINK」へのサポート
- 6 情報提供施設（対象90施設）の実態調査とその報告
- 7 「音声パソコン・サポート」の調査
- 8 「文芸春秋」カセット版貸出の継続（平成17年度末まで）

### 点訳委員会

- 1 『点訳のてびき第3版Q&A』の増刷
- 2 『点訳のてびき第3版Q&A』をテーマとする講習会への講師派遣
- 3 テキスト類に対して寄せられた質問への対応
- 4 点字指導員講習会（点字指導員資格認定講習会）の開催

- 5 「校正規準」の改訂
- 6 「ないーぶネット」入会審査
- 7 『点訳問題集3(例文集)』の出版にむけた作業

### 録音委員会

- 1 全視情協全国大会録音分科会の企画、運営
- 2 「次期ないーぶ」構想について
- 3 第23回音訳指導技術講習会の開催

### 広報委員会

JBS日本福祉放送「全視情協アワー」における番組企画と放送  
 テーマ：「地域の中の点字図書館」

実施状況：4月（第12回） 山梨県ライトハウス点字図書館  
 5月（第13回） 鹿児島県視覚生涯者情報支援センター  
 6月（第14回） 山口県盲人協会点字図書館

(なお、7月以降の放送についてはJBS日本福祉放送の都合により企画中止となった。)

## ～ 加盟施設の所在地が変わりました ～

加盟施設のうち、下記の施設が住所変更・名称変更しました。

- 札幌市視聴覚障がい者情報センター  
 〒060-0042 札幌市中央区大通り西19丁目1  
 TEL 011-631-6747 FAX 011-631-6751
- 霊友会法友文庫点字図書館  
 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-4 いんなあととりっぷビル7階  
 TEL 03-3586-5755 FAX 03-5563-2541
- デジタル編集協議会ひなぎく  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-21 丸の内東桜ビル402号  
 TEL 052-953-3250 FAX 052-953-3250
- 埼玉県視覚障害者福祉センター埼玉点字図書館（名称変更のみ）  
 （旧名称：埼玉県盲人福祉ホーム埼玉点字図書館）

## 平成17年度 第31回全国視覚障害者情報提供施設大会（京都大会）

来る10月12日(水)から3日間、京都において第31回全国視覚障害者情報提供施設大会が開催されます。今回の会場は京都駅前の「ぱ・る・るプラザ京都」。交通アクセスもたいへん便利です。今年度より本会会員施設・団体以外の参加も受付いたします。関心をお持ちの方はぜひご参加ください。(詳細は大会事務局へお問い合わせください。)

また、今年の機器展は機器用具・書籍展示会として開催します。これまでIT関連の情報機器が中心でしたが、関連書籍等の販売も行います。出展業者数も昨年以上を予定しています。

全体会・分科会の内容も多岐にわたっています。今、視覚障害者情報提供施設が直面している問題、今後私たちがめざす視覚障害者情報提供サービスについて、研鑽を深めたいものです。

### 日 程

10月12日(水)	
10:00~12:00	平成17年度全視情協臨時総会
12:00~13:00	受付
13:00~14:00	式典
14:00~14:30	オリエンテーション(大会日程説明)
14:30~17:00	全体会1 視覚障害者情報提供事業と国施策の最新動向
17:00~18:00	休憩
18:00~20:00	交流会
10月13日(木)	
9:00~12:00	全体会2 地域におけるサービスの充実と全視情協の役割
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~15:30	分科会 (分科会1) 指定管理者制度について (分科会2) 個人情報保護法と情報提供施設 (分科会3) デジタル録音に向けて (分科会4) 地域の豊かなサービスとは
15:30~15:50	休憩
15:50~17:50	全体会3 「次期ないーぶネット」について
18:00~19:00	夕食
19:00~21:00	フリートーキング「ないーぶサロン」(自由参加)
10月14日(金)	
9:00~11:30	全体会4 ないーぶフォーラム「情報バリアフリー化の推進」
11:30~12:00	閉会式

機器用具・書籍展示会      12日(水) 12:00~18:00  
    13日(木) 9:00~19:00

## 開催要項

**目 的** 社会福祉基礎構造改革等により、今、福祉は利用者本位の理念をいっそう押し進めるための新しい時代に突入した。郵政公社の民営化や「指定管理者制度」の具体化が進む中、公益重視から収益重視への制度改悪にならないよう国ならびに地方行政機関への働きかけを強めなければならない。また、障害者自立支援法の地域生活支援事業の内容検討には視覚障害者情報提供事業充実のための提案を積極的に進めなければならない。

昨年の第30回記念福岡市大会においては、視覚障害者情報提供施設が今後、求められるであろうサービスについて真剣な議論を深めることにより「視覚障害者のための豊かな地域サービスをめざして」と題する将来構想の成案を得た。この将来構想を進めるための指針を作成することが緊急の課題となっている。

本大会においては、全体会と分科会の討議を通して、求められる豊かな地域サービスへの道筋を明らかにするために次のことを行う。

- ① 視覚障害者への情報提供事業のあり方について、施設運営・現場担当職員・委員会活動などそれぞれの立場から将来を見据えた視点で検討する。
- ② 平成17～18年度のテーマである「組織の強化と『ないぶネット』の安定的運営」について議論することにより、組織内での機能的役割分担などの具体化をはかる。
- ③ 従来の委員会活動に立脚した分科会だけでなく、基礎構造改革の方向についての認識を共有し、豊かな地域サービスへの手がかりが得られる研修を行う。

**主 催** 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）

**主 管** 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会  
社会福祉法人京都ライトハウス 情報ステーション

**後 援** 厚生労働省、文部科学省  
(予定) 京都府、京都市  
社会福祉法人日本盲人会連合、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会  
全国盲学校長会、社団法人日本図書館協会、日本文藝家協会  
財団法人鉄道弘済会、障害者放送協議会  
京都府身体障害者福祉団体協議会、京都市身体障害者福祉団体協議会  
社会福祉法人京都府社会福祉協議会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会  
社団法人京都府視覚障害者協会、社会福祉法人紫野福祉センター  
財団法人関西盲導犬協会  
京都新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

**協 賛** 毎日新聞社点字毎日

**期 日** 平成17年10月12日（水）～10月14日（金）

**会 場** ぱ・る・るプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13（京都駅前）  
TEL 075-352-7444（代） FAX 075-352-7390

大会事務局 社会福祉法人京都ライトハウス情報ステーション  
〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町1 1  
TEL 075-462-4579 FAX 075-462-4434

~~~~~

全体会・分科会の主な内容は以下のとおりです。

**全体会1 「視覚障害者情報提供事業と国施策の最新動向」**

厚生労働省と総務省から行政報告をいただきます。

**全体会2 「地域におけるサービスの充実と全視情協の役割」**

NPOとしての全視情協の役割、日盲社協との関係、また、地域に存在する施設の役割を考えます。

**全体会3 「次期ないーぶネット」について**

昨年の全視情協福岡市大会以後の経過報告と現状、当面の延命策、今後の方向について議論します。

**全体会4 ないーぶフォーラム「情報バリアフリー化の推進」**

1. 「愛知万博における自立移動支援プロジェクト公開実証実験」の紹介
2. 視覚・聴覚に障害のある人たちのための放送バリアフリー（地上波デジタル時代の放送バリアフリー）
3. 放送7年目に入った「目で聴くテレビ」
4. 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会（近畿視情協）の活動事例から

**分科会1 「指定管理者制度について」**

現在、多くの施設がこの制度の対象施設として渦中にあります。現状と今後の見通しについての情報と意見交換の場とします。

**分科会2 「個人情報保護法と情報提供施設」**

「個人情報の保護に関する法律」の施行を受けて、個人情報保護法制整備の背景と視覚障害者との関係を確認し、事業者の遵守すべき個人情報取扱いの留意点を学びます。

**分科会3 「デジタル録音に向けて」**

1. デイジー図書制作基準案についての質疑応答
2. デジタル録音の実際

**分科会4 「地域の豊かなサービスとは」**

地域での視覚障害者情報提供施設(点字図書館)と公共図書館サービスの新たな関係を探り、また、ボランティア活動への評価と位置付けについて双方の立場から議論を深めます。

## ～ ～ ～ 短 信 ～ ～ ～

### ● プレクストーク（再生専用機）も日常生活用具に ●

16年4月に視覚障害者用ポータブルレコーダーが日常生活用具に指定されました。当初、録音再生機のみ指定でしたが、17年3月30日付で再生専用機も認定されました。給付額は、録音再生機が89,800円、再生専用機は36,750円。本会の長年の要望がひとつ実現しました。

### ● 社会福祉法人愛光が創立50周年 ●

千葉県佐倉市に法人本部を置く社会福祉法人愛光が創立50周年を迎え、4月20日、記念式典が行われました。愛光は重複視覚障害者福祉の充実に努められ、四街道市には、本会加盟施設である視覚障害者総合支援センターちば（館長・高梨憲司氏）を運営されています。

### ● 点字指導員講習会 ●

8月17日(水)～19日(金)、メルパルク東京にて「平成17年度点字指導員講習会」が開催されました。既に点字指導員資格を有している方を対象にしたフォローアップ講習会で、参加申込者100名、当日受講者は96名。今春、各施設へ配布された「点訳資料 校正基準」を使った講義「点字の校正技術」や、今、法改正が進められている著作権法についても学べるよう今回はじめて設けられた講義「点訳と著作権」など、タイムリーな講座を満載したプログラムでした。来年度は指導員資格認定の講習会を開催する予定です。

### ● ないーぶネット研修会・目録研修会 ●

8月4日(木)～6日(土)、東京の文化服装学院を会場に、「ないーぶネット研修会」「目録研修会」が開催されました。参加者114名。初日は公共図書館の障害者サービスや各地で活躍しているボランティアグループの活動紹介が行われましたが、2日目・3日目は、6月に新版が発行された「書誌入力マニュアル」について旧版からの変更点説明や、初心者むけの操作説明など、「ないーぶネット」の書誌データ充実をめざした講習が行われました。

### ● 「音声版選挙公報製作・普及に関するプロジェクト」始動 ●

今年度、特別委員会として新たに設置された「音声版選挙公報製作・普及に関するプロジェクト」の第1回会合が、8月9日(火)、名古屋盲人情報文化センターで開かれました。

前回の選挙で選挙公報の点字版製作にあたったプロジェクト（日盲社協点字出版部会を中心とした委員会）から経緯と問題点などの報告を受けた後、今回の選挙に音声版を製作するかについて論議しました。

結果、今回の9月11日投票の衆議院選挙では全国的な音声版製作は見送り、次回の総選挙を目途に準備を進めることとなりました。各地で既に取り組みされている事例は今後とも経験を積んでいただくこと、また、全視情協加盟施設の力量調査を行っていくことなどを確認しました。

## 視覚・聴覚に障害のある人たちのための 放送バリアフリーシンポジウム開催

### 視覚・聴覚に障害のある人たちのための 放送バリアフリーシンポジウム2005 in TOKYO ～ 地上デジタル時代の放送バリアフリー ～

－ 総務省の「字幕放送普及の行政の指針」の目標まで、あと2年。字幕放送は増えてきましたが、生放送はほとんど実施されておらず、手話放送番組および視覚障害者のための解説放送番組は、ないに等しい状況です。一方でデジタル放送が普及しつつあり、テレビ放送のインターネット配信も始まろうとしています。このような現状の中で、視覚・聴覚障害者のアクセスは保障されているのでしょうか。－

来る10月29日(土) 10:00～17:00、東京都千代田区の学士会館において、上記シンポジウムが開催されます。CS障害者放送統一機構、全日本ろうあ連盟、日本盲人会連合、全日本難聴者中途失聴者団体連合会の4団体が主催、本会も協賛団体として協力、理事長・岩井和彦がパネリストとして参加します。字幕放送・音声解説放送について国内外からの報告とともに、これからの障害者の情報アクセスについての議論が期待されます。

本会は障害者放送協議会の放送・通信バリアフリー委員会にも参加しています。また、今年度は、特別委員会として「情報アクセシビリティ検討委員会」を設置し、上記シンポジウム開催のための実行委員会にも出席しました。

日本盲人会連合は昨年度、解説(音声)放送に関する視覚障害者への聞き取り調査を行い、本会もこれに協力しました。今年度は実験放送に対するモニター調査を行うことになっており、全視情協加盟7施設に協力をお願いしています(第1回調査実施日:8月30日)。

一方、総務省は、8月に、「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割 ～2011年全面移行ミッションの確実な実現に向けて～」の第2次中間答申を発表し、これについての意見募集を行いました(8月31日締切)。視覚障害者への情報保障という観点から今後の動きにも注目したいものです。

● 編集後記 ● 秋の全視情協大会が近づいてきました。事務局も忙しくなります。今年から宿泊関係は参加者自身が行うこととなりました。大会事務局の事務量削減にはつながったと思いますが、参加される方にはどんなものでしょうか。大会のあり方も含めて、大会後にはご意見・ご感想をお聞かせください。